なかさと

発行所 中里村公民館
編集人 村山武
印刷所 十日町新聞社

5月1日現在人口

男	4.666
女	4.628
計	9.294
世帯数	1.664

就任御挨拶

教育長 村山軍英

教育長就任以来我が中里村教育行政に幾多の業績を残されました阿部教育長さんがこのたび御家庭の御都合で辞任せられることになりましたので不肖私がそのあとを引継がせて頂くことになりました。

もとより浅学非才特に文教方面に経験乏しく、今更責任の重大さは痛感いたしておりますが幸い村民各位始め村内関係各団体並びに村内各学校当局よりの御指導と御鞭撻を仰ぎ一意専心その職務に邁進いたす所存でありますれば格別の御高配を賜りたく御願い申上げる次第でございます。

さて我が中里村は従来教育村として自他共に知られその施策はいつも教育優先主義が採られて参った事は村民各位の御承知の通りであります。最近に於ける建設面に於ては、いわゆる合併五ヵ年計画に依る高道山校の増改築工事、並びに貝野小学校及び倉俣中学校の屋体の建設更に昨年度、田沢中学、高道山並びに小出の各分校の本校への統合に依る寄宿舎の建設と苦しい財政の内にあってよく之をなし遂げ得たことにつきましては村当局、村議会を始め村民各位に深く敬意を表する次第であります。尚、建設面に於ける今年度よりの計画としては中里村中学の中心校としての田沢中学校の拡充計画が実施の段階に入り本年度四教室（普通教室）の建設が決定せられて居ります。

学校教育の面に於ては昭和三十七年度より実施される中学校職業、家庭科関係の実施に伴う設備費並びに施設費等に要する巨大なる予算が必要とされる段階にあります。

他面公民館活動並びに社会教育関係の面に於ても強力に推進するを要し、職員の増員、オートバイの購入が必要急務かと存じます。

また施設の面に於ては独立中央公民館の建設はこれまた莫大な予算を必要とするも近き将来に実現しなければならないものであると存じます。

以上今後教育委員会に課せられた文教施策の推進については理解ある村当局及び村議会の特段の御支援と御協力をお願いすると同時に広く村民各位の御協力を衷心より御願する次第であります。

中里村が36・37年度県社会体育指定市町村に

県教育委員会では三十二年から社会体育指定市町村を設置して地域の社会体育レクリエーション活動を活発に展開していくためにその地域の実情に即した活動のあり方を研究し、成果を県内の社会体育全般の向上に役立せようと二ヵ年づつ研究指定をおこなってきていますが、このたび三十六、三十七年度の社会体育指定市町村として中里村はじめ県下十五市町村に委嘱をおこないました。

中里村教育委員会ではこの研究委嘱をうけ、主として職場体育と農村地域に於ける社会体育レクリエーション活動のあり方を研究すべく目下具体的に研究項目や今年度の重点目標及び活動組織などについて計画をすゝめております。

社会体育の意義は人々が自分の健康を維持、増進し毎日の生活を明るく豊かなものにし、あたえられた仕事の能率を向上し社会生活の中でみんなと協力し合える人間づくりということで余暇を利用し一定のルールにしたがってゲームをたのしむスポーツ活動や、身体運動を通じて元気を回復し明るい生活をきずいていくためのレクリエーション活動は社会体育の一つの方法ですが、いままで民謡おどりやフォークダンスが比較的住民にのぞまれたということで「踊る社会体育」だけが取りあげられてきましたが、それだけにとゞまるところなく社会体育の目的をよく理解していただき、だれでもがどこでも気軽にたのしめる社会体育活動にしていきたいとおもっておりますので村民各位の御協力をお願いします。

（社体係）

青少年問題協議会発足

—全機構を動員対策に乗出す—

去る五月九日午後一時より、中里村公民館に於て「青少年問題協議会」設立総会が開かれ、会則の決議ならび、理事、幹事を出し、今後の青少年対策に活気的体制をかためた。

▽会長—高橋幸作
▽副会長—大島寿平、高橋源平、斎藤大馨
▽理事（会長、副会長の外）—斎藤政治、藤田五郎、藤田宇一、秀原秀雄、佐藤伍郎、上村賢造、大月拡、藤田博、高橋敬子
▽幹事—井ノ川博、樋口和一、村山武

【写真は協議会総会風景】

田休みは七月一日

中里村の田休みは七月一日です。皆様方の楽しい一日であるように、本館では日ごろは今のところ未定であるが皆様方の労苦に対し感謝し、労をねぎらう為、巡回映画を予定しております。巡回の節は家中とそってお出下さるよう御待ち致しております。

「俳句なかさと」第二号発行について

皆様方の農民文会として、広く全国的に愛好されている俳句が当中里村にかても、すっと以前から、優秀な先輩により育てられ、今日も、いよ〜〜盛んであることは御承知の通りであります。

先般「俳句なかさと」創刊号を各戸に配布いたしまして、同好者の投句をお願いしておりましたが、今のところ、応募者がきわめて少なく、淋しく思っております。

来る六月二十日第二号投句締切りますので、一般の方是非御寄句頂き度お願い申上げます。

「なかさと」原稿募集

公民館報「なかさと」を真に村民のものとする為「村民の声」欄を新設致しました。広く皆様方の御投稿をお待ち申し上げております。

ムシ歯の予防を大切にしよう（二）

歯科医 藤田博

歯は一度完成すると完成後とれを栄養学的に強健にすることは、殆ど不可能である。既に完成後にはその予防対策も、口腔清掃による外はないと云うことになる。又歯、殊に乳歯の形成は胎生四十日頃より既に始まり永久歯もこの時期に於ては、人為的に歯を強健にするには一番大切な時期と云える。それでは如何なる注意が必要であるかと云うと次の通りである。

〔A〕胎生期の注意

歯の形成に必要な栄養物を母体に与え、母体より血液を通じて胎児に供給する。

〔B〕初生児期の注意

生後一、二年間は乳歯の形成は急速に進行し、漸次歯が出始め、永久歯の形作りも漸く活発となりますので次の事項に注意すること。

①母乳栄養の励行（乳汁は人工栄養の場合でも適当な栄養剤を混合することが出来る）。

②母体に十分栄養を与えること殊に十分なる石灰塩をとらすこと。

以上のことについては保健婦さんに良く相談することが望ましい。

〔C〕乳歯期の注意

生後三〜七年に至る間は乳歯は既に口の中に出揃い噛むことを行い、永久歯の形成は最も盛んに行われる時期である。従つて次の事に注意する。

①小児に栄養価高く、ビタミンに富む食物をとらせる。

②小児によく噛むと云うことを教えて、顎骨の発育を計る。

〔D〕歯が形成した後の注意

口腔清掃に努めムシ歯の発生を防ぐ。

以上ムシ歯予防の対策法としては、先天的に強健な歯の形成に努め 後天的には積極的に口腔清掃法により口腔清掃に努める事が肝要である。

◇口腔清掃について◇

口腔清掃とは、口の中及び歯を常に清掃することで、自然又は人為的に用具を用いて歯及び口の中に汚物の沈着がないように努めることを云う。

この目的は、歯及びその周囲の組織を強健に保つと共に疾病を予防し、尚心身に快味を与えひいては身体の健康の維持増進を計る所にある。

（口腔清掃の方法）

自然的清掃と、人工的清掃に区別しています。

◇自然的清掃とは◇

ツバキの分泌、顎の運動、歯それ自体の形、食物等によって自己清掃作用が行われている。

①ツバキの分泌

物を食べる時には、多量のツバキが出て来る。このことによって歯の附着物及び口の中のバイ菌を排除する役として、自然に防止している。

②歯それ自体の形が自然に清掃している。正常な歯は、歯の表面が滑かになっているので汚物が附きにくい性質をもっている。

③下顎による自然的清掃

下顎を動かすことにより、口の中の不潔物の除去に役立つ。特に舌はその汚発を運動によって歯の間にある不潔物を除いている。

④食物による自然清掃

食物の中で肉、センイ性食物及び果物等は、口の中に残るということが少なく、しかも噛むのに力が要るので、自然的にそれ等食物によって歯の表面を研くことになり、歯の面の付着物及び、バイ菌を排除する効果が大になる。又コーヒー、茶、その他り飲料水は口腔洗滌剤の役目をする。しかしながら一面食物を食べることにより、口の中の不潔度を高めることになる反面もある。即ち発病に対し、一種の予防性を有すると共に、他面食物のカスとなり、病を誘発する発病性を持っている。

◇人工的清掃とは◇

口の中を清掃するに当り各人自らが、自己の口をある種の用具等を使用して清掃することを云う。

歯刷子の使用についてはその使用法が正しく行われているかどうかの点については可成の疑問があります。

歯の研磨、清掃する順序としては、一般に次の如くである。

1、上下の歯及び歯グキの外面
2、下顎の歯及び歯グキの内面
3、上顎の歯及び歯グキの内面
4、上下顎の歯が噛み合わさる部分（日状の部分）

ムシ歯の発生部位は、主として前歯では、隣の歯との間。奥歯では噛み合わさる面となっていますので、清掃時は十分に丁寧に磨くことが大切です。現在は朝夕磨くだけでなく、食物を食べた後には必ず含嗽するか、歯を磨くことが好ましいとされています。

◇歯の病気が原因で起りやすい主な全身的疾患◇

1、原因不明の微熱が続く
2、貧血
3、血管硬化症
4、甲状腺炎
5、膀胱炎、腎炎
6、胃潰瘍、通称胃腸炎、十二指腸潰瘍
7、耳鳴、慢性頭痛、神経炎
8、視神経炎
9、関節炎、ロイマチス
10、筋炎、肩凝

おらが森

—学校林間植—

写真は学校林

去る五月二十五日田沢中学、学校林、及び「青年の山」（鳥羽地域）の手入れを行った。この日は晴天にめぐまれ、若々しく繁る高原に未来に夢を託した若人の元気な姿は、そのまゝ農村の将来を背負う士官の如く発剌たるものが印象を深めた。もしもこの事業に対し近視眼的言辞を弄するものがあるとせば、それは、この「若人の山」に登った感激を知らざるものだろう。

越冬バエ駆除

❶去る三月二十日から四月二十日間において実施した越冬蝿退治は三十六ヵ部落が参加、八、一一六匹捕殺致しました。一四の越冬バエは一夏に七回卵を生むとして計算すると十五億五千万匹となる訳でこれに八、一一六匹を掛けますと天文的数字となり、悠に一回の一斉消毒をした程の効果を上げた訳であります。来るべきときは、全部落参加又全戸が参加するようにし更にその成果を期すよう望みたい。

新購入図書案内

キリスト教入門（矢内原忠雄）東条英樹と太平洋戦争（佐藤賢了）風流さんど笠（村上元三）青春の譜について（亀井勝一郎）巣立ちの歌（水井直男）駿馬天狗⑨⑩（大仏次郎）日本残酷物語⑦⑧（平凡社）リンカーンが撃たれた日（ジム・ビショップ）ナポレオン伝（エミール・ドウィッヒ）追跡者（T・フリード・マン）私だけが知っている（徳川夢声）魔の海探検記（河合三郎）禅の話（白田劫石）破戒裁判（高木彬光）花散里（円地文子）虹の工場（獅子文六）頭の中の歯み（石川達三）新潮の歴史（荒川豊一）男狩り（曽野綾子）詩を書く少年（三島由紀夫）歯んだ復讐（松本清張）私は一才（松田道雄）昨日の恥今日の恥（坪田譲治）日本人のたべもの（小幡彌太郎）子どもとともに（読売新聞社）長生きのコツ（吉田正憲）電化生活のすべて（読売新聞社）啄木詩集⑮⑯（春秋社）デンマーク式養豚（林業人）早植早期の増収栽培（荒辺正）

第10回 中越地区公民館役職員講習会開催

六月二十一〜二十二日於清津峡温泉

来る六月二十日から三日間、清津峡湯本温泉で第十回中越地区公民館連絡協議会及び地元中里村の主催で開催されることになりこのほどその要領がまとまりました。

この講習会は中越地区の各市町村公民館関係者が地域の公民館活動の進展をはかる為に研究しあう場として各郡市が会場もちまわりで毎年行われ、今年は中魚、十日町市の当番として清津峡で開かれることになったわけですが、地元中里村教育委員会ではこれを機会に本村の公民館活動の推進に資する為、村内関係者多数の参加とその成果を期待しています。

以下講習会開催要項のあらまし

一、趣旨
「技術革新」「マスコミの猛威」「人口の移動」「変ぼうする農村」等々社会のめまぐるしい流れに対し、公民館のはたすべき役割は何か、日頃の研究、実践の中から、今後の歩むべき道をさがし求める。

二、研究課題
「変りつゝある現代社会に対して公民館の果す役割はなにか」

三、主催
新潟県教育委員会、新潟県公民館連絡協議会、中里村

四、主催
中魚沼、十日町市社会教育振興会、中里村教育委員会

五、後援
中魚沼郡町村会

六、期日
六月二十日〜二十二日

七、会場
国立公園清津峡温泉

八、講演及び講師、助言者
「変りつゝある農村と社会教育のあり方」農林省農業総合研究所、並木正吉氏他

九、参加者
市町村公民館役職員
市町村社会教育委員
市町村教育委員
市町村教育委員会関係職員
市町村青年学級、婦人学級講師及びリーダー等

十、分科会の構成
①◎第一分科会
「これからの青少年教育の進め方はどうあったらよいか」
◎第二分科会
「変動する社会に対応する成人男子の学習はどうあったらよいか」
◎第三分科会
「婦人に社会をみる目をつけるためには学習活動はどうあったらよいか」
◎第四分科会
「農村の近代化に公民館の果す役割は何か」
◎第五分科会
「マス・コミにどう対処するか」

十一、実践発表会

以上、参加申込み締切は六月十日、中里村公民館村山武究。

投稿　感想文

成人式参加の服装

近頃の女性は、嫁入りの衣裳を一回つける。一回は実際に、そしてその前に成人式参加の為に、それに優するとも劣らない服装をする。

美しく着飾って、いかにも幸福そうなものに賞讃の言葉や祝福のそれを惜しむものではないが、彼女達を羨望の目でのみ眺め続ける訳にはいかない。何故ならば、それの出来るものは買に行く楽しみ、柄を選ぶ楽しみ、仕立てる楽しみ、着飾った自分を他人から見られる楽しみ、又お互いのものについて話す楽しみ等にかつそれの出来ない人達に優越する楽しみさえも享受することが出来る。けれども、それの出来ないものもあるからである。学者の話に依ると、ヒステリー性格のもので自分を実際以上に見せる為に流行を追え求めることに特に熱心なものがあると言われるが、そのようなものはともかくとしても美しいもの新しいものを身につけたい気持ちをみんなが持っている。経済的余裕あるものも、無いものも同じ欲求を持っている。ただ欲求を満たせる、満せないの違いだけである。

親心を以ってするならば、みんな同じ気持ちで式に参加してくれることを希うであろう。生活環境の相違は如何ともし難いところであろう。又、それのできる環境にあるものにそうすることを断念させることは、肥り盛りの子供に伸びることを思い止まらせることに似て、むりなことであろうし、それを強いることは、彼女達の楽しみを奪う結果にさえなり、事の解決方法としては消極的方法と言える。経済的余裕あるものが、無いものに歩調を合せることは簡単であり、その逆は、仲々むずかしい。けれども経済的余裕の無いものが余裕を得べくすることと、若くは、経済的余裕を持たないものを持つべく仕向けることの方が積極的方法と言える。

むずかしいことであるが、積極的方法であり、且つ、正しい方法であるならば、みんながこのことを重視しなければならない。成人式を既に済ませたものは、今後成人式を迎えるものの幸福を思うならば、たとえわずかであっても、先ずこのことを実行に移すべきであり、今後これを迎えるものは、同じ成人式を迎える仲間にも服装に相違があると同じに別々な生活環境を持ちながら、一つの社会に生きて行かねばならないことなどを考えてみる必要があろう。

成人式に於て、服装などに全くこだわらなかった人は幸福である。そのような人にとって拍文は白紙に等しいはずである。実は、これが最も好ましいことなのである。（S生）

五月行事終る

成人式

去る五月四日田沢中学校に於いて昭和三十六年度成人式が行われた。該当者は一〇一名。村長、教育委員長はじめ来賓の祝辞のあと、津南町、普致院満沢隆雲先生を講師としてお招きし貴重な記念講演を聴き、意義ある一日を過した。

「母の日」記念式典

去る五月十四日「母の日」の記念式典は、お母さん約千人の参集の下、山崎大映で盛大に挙行された。

敬老会

田沢——貝野地区

公民館主催による貝野地区五月四日、田沢地区五月十六日それぞれ恒例の敬老会が盛大に行われた。いづれも地区婦人会の熱意をこめた協力により、集まった老人各位にとって心温まる雰囲気のうちに無事終了した。

青年会総会

去る五月十四日、田沢映劇に於いて中里村青年会定期総会が招集された。当日まず総会議長に樋口克巳氏が選ばれ昭和三十五年度事業会計報告、昭和三十六年度事業、予算を議決した後つゞいて役員改選に移り会長に高橋信雄氏が選出され、他の役員の選出は会長一任、後日指名とし、午後映画鑑賞し、散会した。尚新会長挨拶は上記のとおり。

犬はつないで飼いましょう!!

「納税者の声を聞く旬間」

六月一日から六月十日まで国税庁、税務署が中心となって「納税者の声をきく旬間」として納税者の不平、不満、苦情意見などを積極的にきゝまして税務行政改善の資とするため各種の催しが全国的に行われます。十日町税務署としては幹部職員が納税者のお宅を訪問して御意見などをおききする計画でありますが、この機会に何でも御遠慮なく税務署におきかせ下さい。

（十日町税務署）

今年は!! 集団発生の年

—伝染病—

ことしは周期的に伝染病の集団発生の年にあたっているといわれています。

毎日の新聞もあちこちで発生していることを報じています。

本村には幸い今の処、集団発生という事態は出ておりませんが既に九人の患者が出ました。みんなで自分のかゝったときのことを考え次のことを励行し予防につとめましょう。

◇用便後の手洗
◇用便後にBHCを便池へ散布
◇蠅、蚊鼠退治
◇住宅内外の清掃（特に寝所下水）
◇寝具の日光消毒

普及所だより

編集　中部普及所

六月のイナ作

—手入と病虫害—

昔から苗代半作、苗七分作など言われるように苗の出来具合がその年の作柄を決定する。今年は近年まれにみる霜害により苗代の播種期が遅れ、この分では田植えも大分遅れるのではないかと心配されたが、苗代期間が好天に恵まれたので、一部地帯（立ち枯れ、むれ苗、徒長等苗代障害続出）を除いては概ね順調な生育をとげるにおよんで田植えも平年に比較して二、三日遅れをみたにとどまった。今後の天候さえ良ければ今年も豊作が期待できる。以下六月稲作について感どころを述べて参考に供したい。

㈠、用水管理

田植後、活着する迄の一週間は水深を約三寸位に保ち、地上部が倒れたり又は動揺するのを防止すると共に、葉の蒸散作用を制限し植え痛みを少くして活着を促すこと。活着後は約一寸内外の浅水とするのが良い。常時湛水は土壌中に酸素を不足させ、徒長軟弱に育つだけでなく根腐れを起し、根の老朽化を促すと共に養水分の吸収を極度に減退させるのでよくない。

出来得れば三日〜五日ごとに半日ないし一日間排水して土壌への酸素の供給を行いたい。冷水田では水口の設置により水温地温の上昇を計れば一層効果的である。

㈡、中耕除草

今年のように霜消えが遅れ本田初期の水温の低い年は、活着不良、初期生育の不健全などの理由から稲の生育相が乱れ有効茎歩合の低下穂数の減少等により減収を招き易い。これが防止に健苗育成、浅植えは勿論のこと、田植後の一番除草を早期に実施することが大事である。

第一回中耕除草は田植え後七日目位の晴れた日に行い、除草剤PCP粒剤使用のときは、中耕終了後二日後に反当三〜四瓩を手で均一に散布する。止草は出穂三十五日前迄には終える様にしたい。最後に除草剤二四Dの使用については、出穂前三十〜三十五日迄に完全に終えるようにする。十アール当り薬剤所要量並に散布量は次の通り。

二・四Dソーダ塩四〇〜五〇瓦、二・四Dアミン塩八〇〜一〇〇瓦、水中二・四D二五〇〜三〇〇瓦を夫々七〇〜八〇ℓ（四〜六斗）の水にとかして散布する。粒状二・四Dは三・〇〜三・五瓩を散布すること。

㈢、病虫害

①稲蝿ハモグリバエ

苗代で防除したので発生は少いが六月上旬気温の低下の際は注意を要す。EPN乳剤一〇〇〇倍液又は粉剤三〜四瓩、デルドリン粉剤三〜四瓩を夫々反当り散布する。

②二化メイ虫

これについては第一化期（六月中下旬）の防除を徹底的に行いたい。ホリドール、EPN粉剤を反当三瓩、ホリドール乳剤二〇〇〇倍液EPN乳剤一五〇〇倍液を反当四〜六斗散布する。

③稲熱病

既に一部発生が認められる。中間施肥に充分注意しよう。水銀粉剤反当三・五瓩を散布する。

——幼豚期——

飼育のカナメ

親元から離して（体重一二瓩）から、その後二ヵ月（体重三〇瓩）くらいまでの幼年期の豚の飼い方が豚飼いの成功、不成功のわかれ道になるので、そのカナメをあげてみよう。

一、目方をはかる

一週間後、導入された時の体重より少しでも増量しておればまず成功とみてよい。

二、定量給与

エサは、給与後十分位いで食い終る程度が適当で、一日の給与量は、風乾濃厚飼料で体重の五〜五・五%量で、これを四回に分けてやる。いも類はこの三〜三・五倍の量となる。

三、美食を与えること

幼豚には特に蛋白質飼料が重要。同じ蛋白でも、植物蛋白より動物蛋白がよく、せめて幼年期時代だけでも良質の魚粉、魚のアラのよく煮熟したもの、又は蚕蛹など給与飼料の二〇%配合を給与すること。

四、給与飼料はカズ多くの配合

幼豚時代は出来るだけ多くの種類の配合がよく、最近は仔豚用の完全配合飼料が売られているが、これらにイモ類を半煮程配合することが経済的で、幼年期のイモ類は煮てやることがよい。

五、青草の給与

やわらかい草なら、食べるだけ給与する。毎日一〇時と三時頃にオヤツとして豚舎に投入してやる。ラジノクローバ、レンゲ、甘藷つる、ハコベなどがよい青草だ。

六、無機成分の補給

カルシュウムは、炭カルで二・五%、食塩は〇・五%内外。

七、運動は充分に行う

八、親から離して十〜十五日過ずたら必ず駆虫薬を

九、仔豚の下痢は一日絶食

消化しやすい飼料を平常の三分の一くらいから始め、二日くらいでもとにもどす。

6月のそさい

心ゆるせぬ管理

つゆ時のエキ病

エキ病はいろんなソサイに発生する。一種のカビであって、湿気のないところでは活動ができない。主に湿気のところで増え、水によって伝染する。このエキ病は近年とくに多くなり、バレイショ、トマト、ナスをはじめいろいろなソサイをおかす。季節的にみると、気温が二十度C内外で曇天または小雨が続いて湿度が高いと多く発生する。まず、エキ病の性質を頭におきたい。

❶土の中にひそみ冬を越す
❷水によって伝染する
❸雨が降ると活動し、湿気の多いときほど病勢がひどい

◎エキ病防除のかなめ

葉のエキ病は一晩で襲うこともあり油断がならない。そこで治療でなく予防でのぞむことこそ肝要だ。

(イ)に敷ワラを厚く例って土の雨が泥と一緒にハネて葉につかないようにする。

(ロ)に排水をよくする。溝や水たまりは、雨のよい温床地である。

(ハ)に被害茎葉や果実を畑に残さない。土中に深く埋めるか堆肥に積んで腐らすか、焼くのもよい。

(ニ)に最後の方法として薬剤を用いる。この時で効果をあげるには、

一回撒布…開花期
二回撒布…着蕾開花期
三回撒布…着蕾期開花期
花の終るころ

◎薬剤の種類と濃度

四斗式石灰等量ボルドー、銅水銀粉剤、有機水銀粉剤、トリアジンなど。反当り四〜五石に展着剤を加える。粉剤は一〇アール当り四瓩、撒布するときは葉の表裏に充分かけるとともに株の地際附近にも入るので、晴れ間をみて追込みをかける。

今月のお天気

お天気も、いよいよ今月からツユに入るわけですが、今年の雨は男性型で、ひどく降ったり晴れたり、仲々変化がありそうです。

ツユの入りは平年並で、気温は時々低目になるでしょうが、二〇日すぎ頃にはツユの中休みがあって、お天気の良い期間がありそうです。

又、月末にはかなりの雨が降る処があるかもしれません。月を通じての平年気温と雨量は平年並で日照は多少多い見込みです。

図書紹介

農業改良普及所には左記の経営近代化に必要な優良図書を備えてあります。希望者は普及所、又は普及員に御連絡下さい。

一、水稲品種解説　一二〇円
二、早植、早期栽培　一九〇円
三、もうかる和牛肥育　一〇〇円
四、デンマーク式養豚　一〇〇円
五、豚の飼い方　一〇〇円
六、十万円養蚕　八〇円
七、蔬菜栽培の技術　三三〇円
八、これからのイチゴ作り　二〇〇円
九、農業経営の理解　一三〇円